

「初めてのフランス語」

広島大学マスターズ会員 原野 昇

市民講座「初めてのフランス語」（6月4日、11日、18日、25日、計4回）が無事終了した。受講者は35人（男性8人、女性27人）だった。

教室ではDVDやCDを活用して簡単な会話や基本文を暗誦したり、文法の基礎を学んだ。その際、講師が発案した「引き出し学習法」を導入し、学習者が負担感少なく、フランス語を気楽に楽しく学び進めるようにした。

「引き出し学習法」というのは、頭の中に入れる事項を極力少なくし、文法事項は1枚ずつカードを作り、それをとりあえず引き出しの中に入れておく、というものである。頭の中が整理でき、基本文がマスターできた段階で、少しずつカードを取り出しながら、応用文を増やしていくのである。

3つの引き出しを用意してもらい、最初の引き出しには、冠詞、形容詞、指示形容詞、所有形容詞など、性・数により4つの形（男性単数、女性単数、男性複数、女性複数）があるもの、2番目の引き出しには、動詞のように人称によって6つの形があるもの、3番目の引き出しには、その他の文法事項（疑問文の作り方、否定文の作り方、定冠詞の縮約など）のカードを入れる。カードを作り引き出しに入れることによって安心してもらい、何もかも頭の中に入れようとしてパニックになる（ドロップアウトする）のを避けるのである。そうすると、暗記を求められた必要最低限の基本文がマスターできた人は、引き出しに入れたカードを取り出し、応用文を少しずつ増やしていくことができる。すなわち学習者が、自分で何をどうすれば使える文を増やしていくことができるかが理解できているので、一人ひとりが自分の能力と時間に応じて、自分のペースで自習していくことができるのである。

Je chante une chanson. 「私は歌を歌います」、Nous chantons une chanson. 「私たちは歌を歌います」という文を学ぶと、続けて童謡（「アヴィニヨンの橋の上で」「フレール・ジャック」）をCDに合わせてみんなで歌い、講座を受講した人はフランス語の歌を2曲も歌えるようになったと言って喜んでいました。